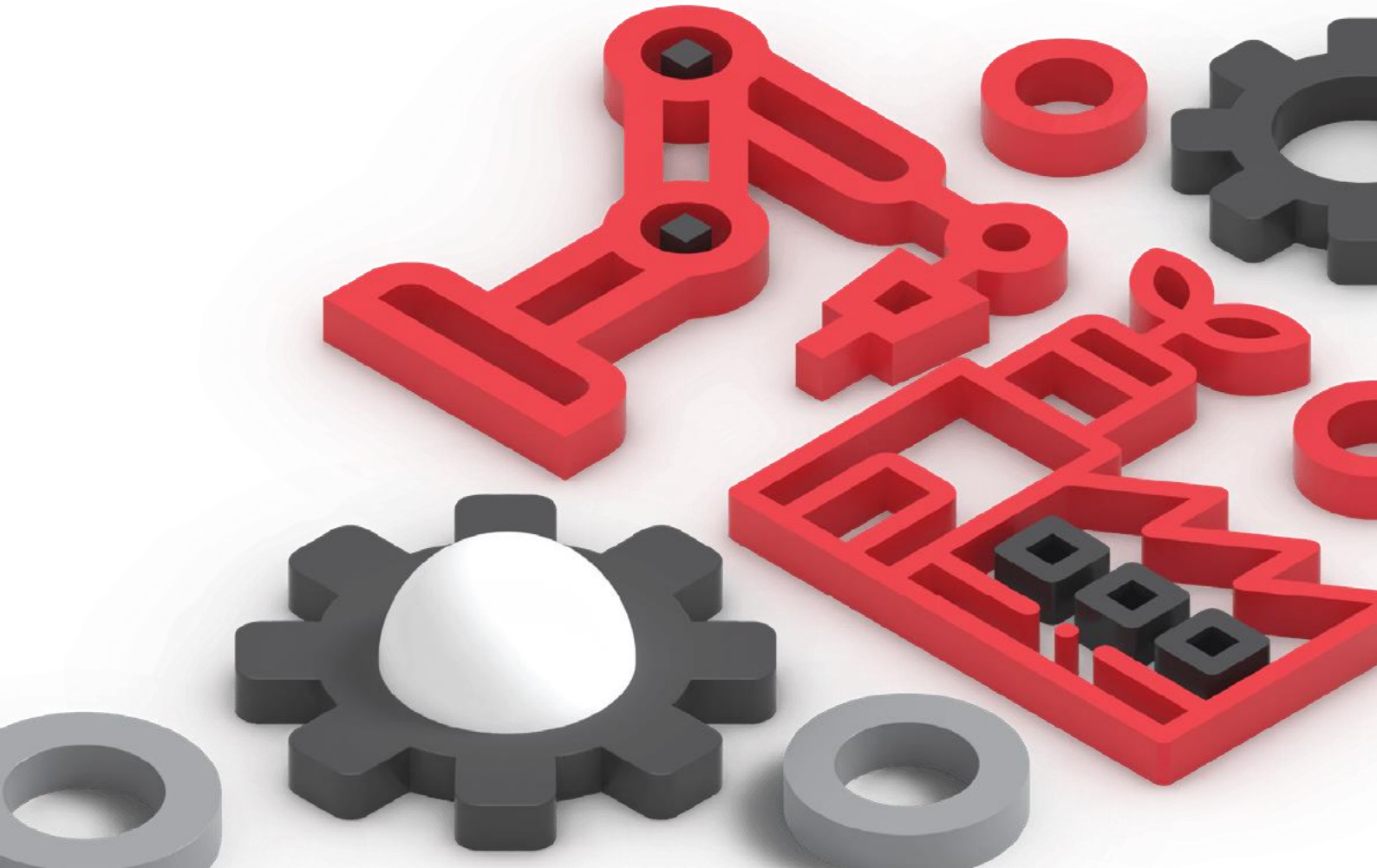
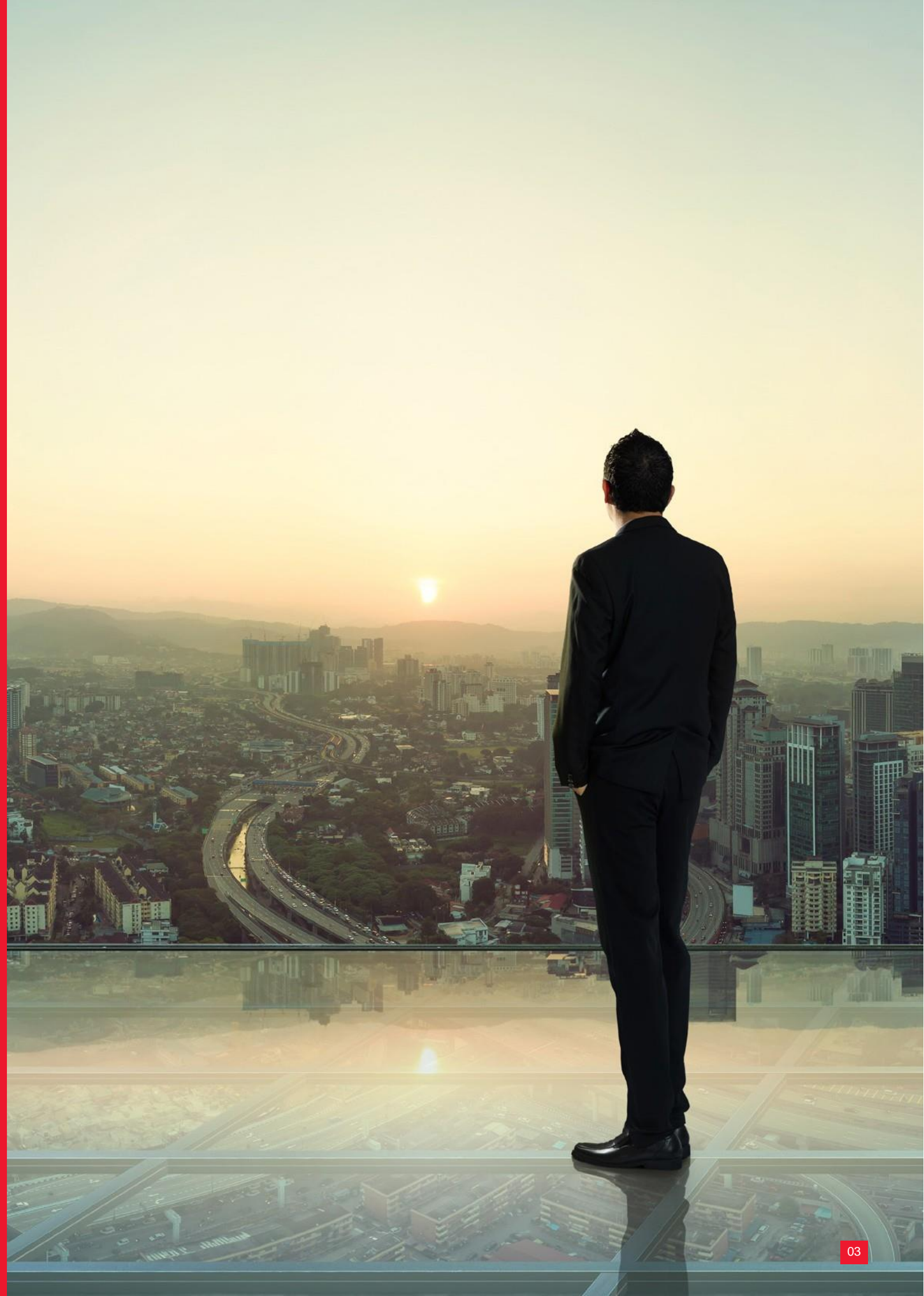




新たな世界 の構築



投資機会





目次

カルナタカ集の紹介	06
経済	07
産業回廊	08
質の高い教育	10
熟練した人材	12
ナレッジハブ	14
ポリシー主導	16
ビジネスのしやすさ	18
ライフスタイルとエンターテインメント	20
電子システムの設計および製造	26
航空宇宙および防衛機器	28
工作機械	30
イノベーションとスタートアップ	32
自動車、自動車部品、電気自動車	34
バイオテクノロジー、製薬、医療機器	36
農業および食品加工	38
繊維およびアパレル	40
鉄鋼業	42
エネルギー部門	44
観光および健康	46
産業クラスター開発プログラム グローバル	48
カルナタカ投資家フォーラム	50

カルナータカ

未来を拓く場所

カルナタカ州は、インドの発展の輝かしいスポットであり、世界でも最も優れたものの象徴です。

カルナタカは、古代遺産、風光明媚な風景、野生生物の宝庫、豊かな文化を備えた土地です。また、イノベーション、産業、豊富な人材をも備えています。

インドのシリコンバレーの拠点であり、IT および ITeS、工作機械、航空宇宙および防衛、ESDM、バイオテクノロジー、R&D、エンジニアリング デザインなどの分野のリーダーです。

絹から精密機器製造まで、すべての産業をカバーしており、現在、グローバルサプライチェーンを繋ぐ重要なポイントとして浮上しています。

カルナタカ州に投資し、自らの手でカルナタカ州の成長を実現してください。

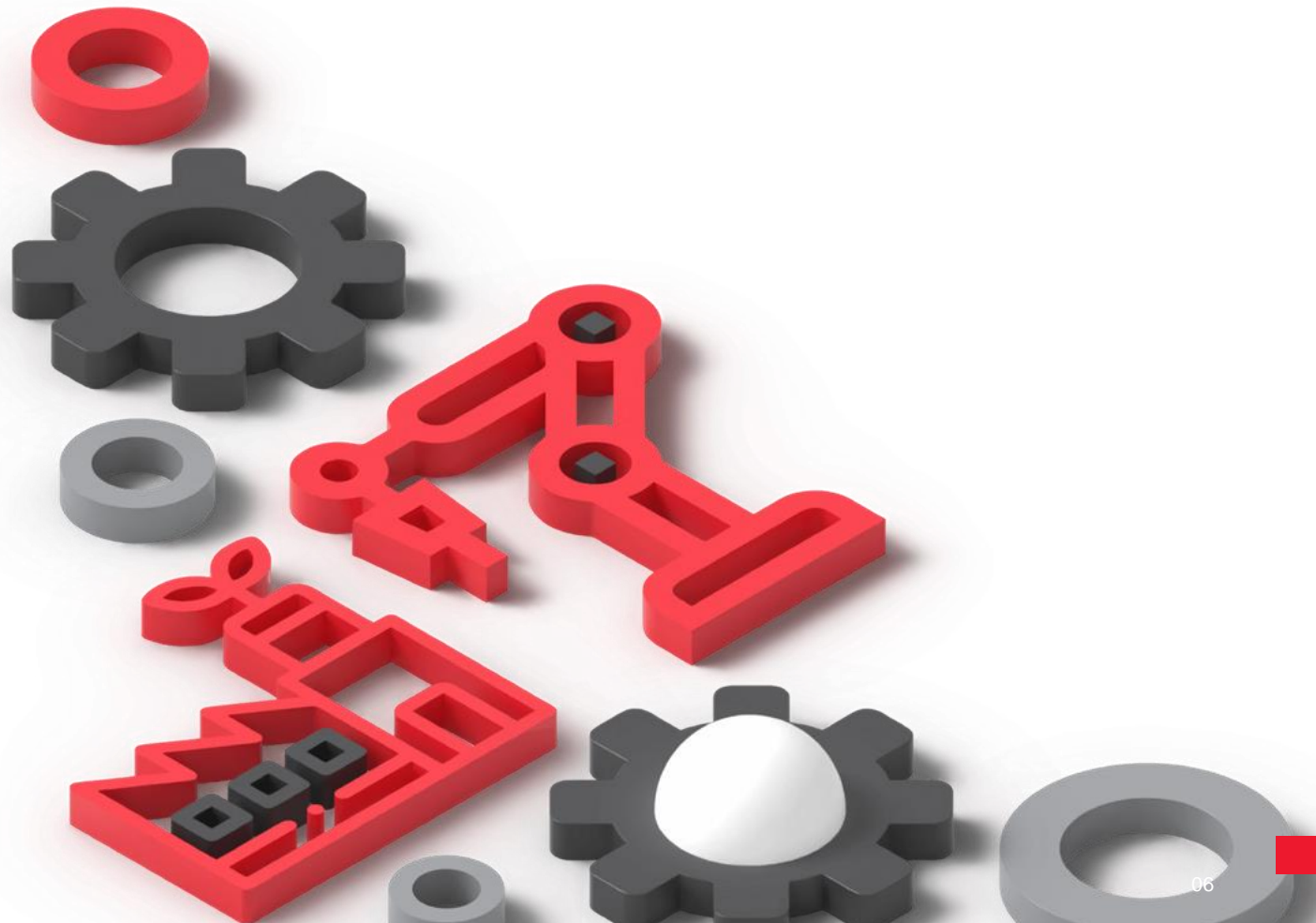
成長の原動力となる 経済

経済概況

- 2,680 億ドルの GSDP、予測成長率 9.5%
- インドにおける FDI 誘致第 1 位 (40% 以上)
- IT・ITeS 輸出第 1 位
- インド全州で合計輸出額第 1 位

カルナタカ州の優位性： 主要な投資先

- 技術革新ランキングインド第 1 位
- 国内最大の研究開発拠点
- フォーチュン 500 企業のうち 400 社の本拠地
- ESDM、航空宇宙および防衛、工作機械製造で国内第 1 位
- バイオテクノロジーの生産と輸出で国内第 1 位
- 快適な気候と国際性豊かな文化
- エンジニアリング カレッジ、ITI、ポリテクニクの数最多



強固なインフラで 3つの産業回廊を繋ぐ

カルナータカ州の優位性

- CBIC (チェンナイ-ベンガルール産業回廊)
- BMEC (バンガロール - ムンバイ経済回廊)
- HBIC (ハイデラバード-ベンガルール産業回廊)



バンガロールへの接続



- B/バンガロール空港の航空交通量はインドで第3位
- 国際空港 - バンガロールおよびマンガルール
- 既存の地方空港 - マイスール、ヴィジャヤナガラ、フプリ、ペラガヴィ、カラブラギ、ピーダル
- 今後建設の空港 - シパモガ、チクマガルル、ハッサン



- 敷設道路2,40,000Km
- 13の主要国道



- 水深の深い西海岸の新たなマンガルル港
- 9つの小規模港



- 鉄道網 - 3,250Km
- バンガロールメトロ全長 115 KM のうち現在56 KM が使用可能



- 航空貨物施設 - バンガロール、マンガルール、フバリ
- インドで第2位の規模を持つICDを含む港への直接レール接続を備えた6つのICD
- 5つの CFS (コンテナ貨物ステーション)

カルナタカ州 強固なエコシステム： 質の高い教育



カルナータカ州は公共投資を増額し、アクセス、エクイティ、高品質の教育確保するために、大幅な改革を行いました。



工科大学
234



医科大学 (MBBS)
57




大学
44



インターナショナル
スクール
16





カルナタカ州
強固なエコシステム：
技術力を備えた
人材

人口ボーナスの恩恵を受けるため、カルナタカ州は2017年～2030年の間に1,880万人の若者の技術向上を目指します。

スキルインフラストラクチャ

高度な製造業の構成要素(AI、IoT)と熟練した製造技能の
交点をもたらす最大の労働力

中国より50%、競合するインドの他州より15% 安価な人件費

公立および私立の ITI、1,777校が 18万人 の若者に技術研修を
実施

約360の専門学校で90,000人以上の学生を養成

4,232 以上の施設での対応人数39,610 人の見習い訓練プログラム (ATS)

68部門で 500 コースを実施する800 の職業訓練プロバイダーによるモ
ジュラー雇用可能性スキーム

カルナタカ州
強固なエコシステム：
ナレッジハブ



インド全土のR&Dセンターの中で最大のシェアを占めるカルナータカ州は、今や技術革新の世界的リーダーです。

ハイテクの専門分野には、チップ設計、データ分析、電気システム、モバイル インターネット デバイス、高密度パッケージング、航空宇宙などがあります。

グローバルR&Dセンターを有する400以上の多国籍企業

1,500のグローバル社内センター(GIC)の35%

世界クラスのインキュベーションセンター、ラボ、および共通計測施設

データサイエンス、モノのインターネット (IoT)、人工知能 (AI)、アニメーション、ナノテクノロジーのエクセレンスセンター(CoE)

国内のエンジニアリングおよびデザイン収益の 40% をカルナータカ州が占めています。



最大の
バイオテクノロジー
ハブ



最大数の
産業訓練機関



最大数の
R&Dセンター



最大数の
医学教育機関



最大数の
ソフトウェアテクノロジー
パーク

カルナタカ州
強固なエコシステム：
ポリシー
主導



産業政策



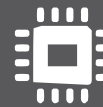
航空宇宙& 防衛政策



電気自動車
政策



繊維製品政策



IT, BT, ESDM
政策



データセンター



セットアップ政策

カルナータカ州における産業の成長は、新興産業や起業家に広範なサポートを提供する透明性のある部門別政策によって推進されています。

カルナータカ州の新たな産業政策 2020-25 で発表された複数の助成金が、投資家に有利なコスト経済をもたらします。



新産業政策の魅力的な
インセンティブ

売上高連動補助金

投資促進助成金

年間売上高の最大 2.25%

6年から最大10 年間

固定資産価値の 40~60%

事前設定料金

土地転換手数料の100%還付

印紙税の 100% 還付

0.1% の優遇登録料

設備投資

排水処理プラントの設置に対する 50%の補助金。最大 2500万ルピー

アンカー産業に対する7~1 0億ルピーの補助金

カルナタカ州 強固なエコシステム： ビジネスを容易に

カルナータカ州 は、ビジネスのしやすさで群を抜いています。ビジネスフレンドリーな環境、透明性のあるプロセス、また簡素化された政府の規則と規制により、大企業だけでなく、中小企業や新興企業にもビジネスを容易にしました。



EODB改善のための宣誓供述書に基づくクリアランスシステム(ABC)を導入

- ・ 猶予期間の導入により15の承認が緩和されました
- ・ 3年間の長期猶予期間
- ・ 12部門をカバー

単一窓口による手続きで承認プロセスを迅速に

カルナタカ州

強固なエコシステム:

ライフスタイルと エンターテインメント



カルナタカ州は、ビジネスとエンターテインメントが程よく共存しています。州のコスモポリタンな文化は、外国人が住むにも最適な空間です。

ユネスコ世界遺産をはじめ、世界中の観光客が訪れる人気の観光地です。

40以上の5つ星ホテル。例えばタージグループホテル、シャングリラ、ハイアットなどがあります。

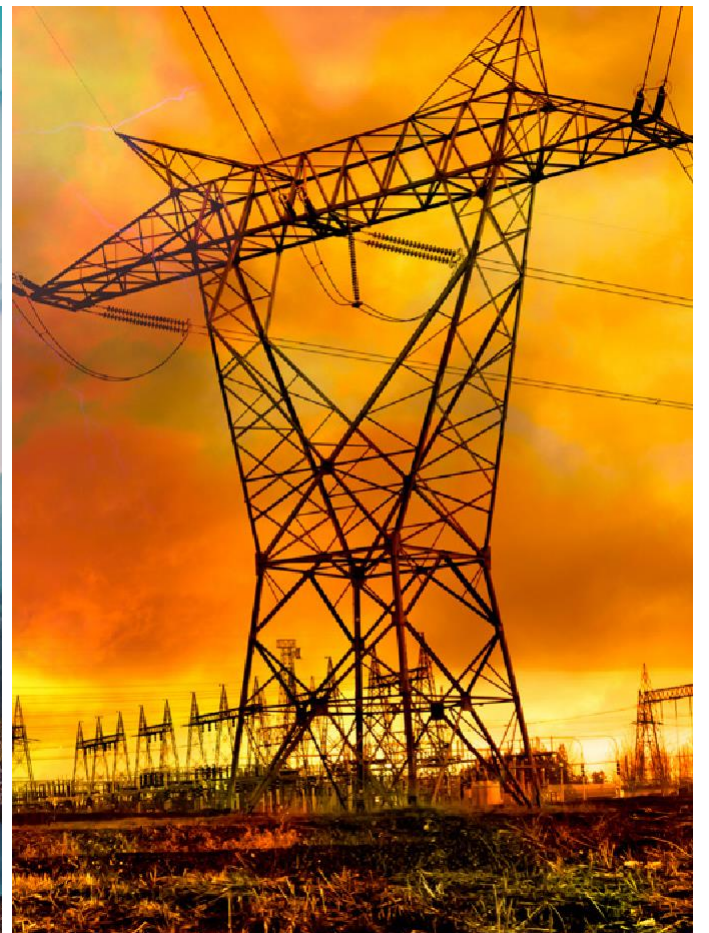
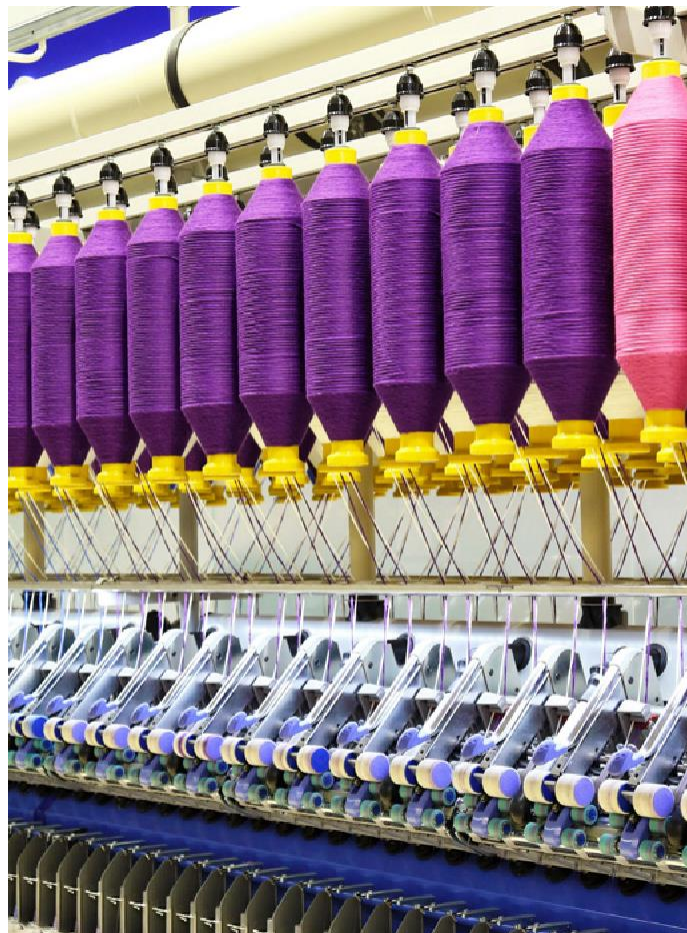
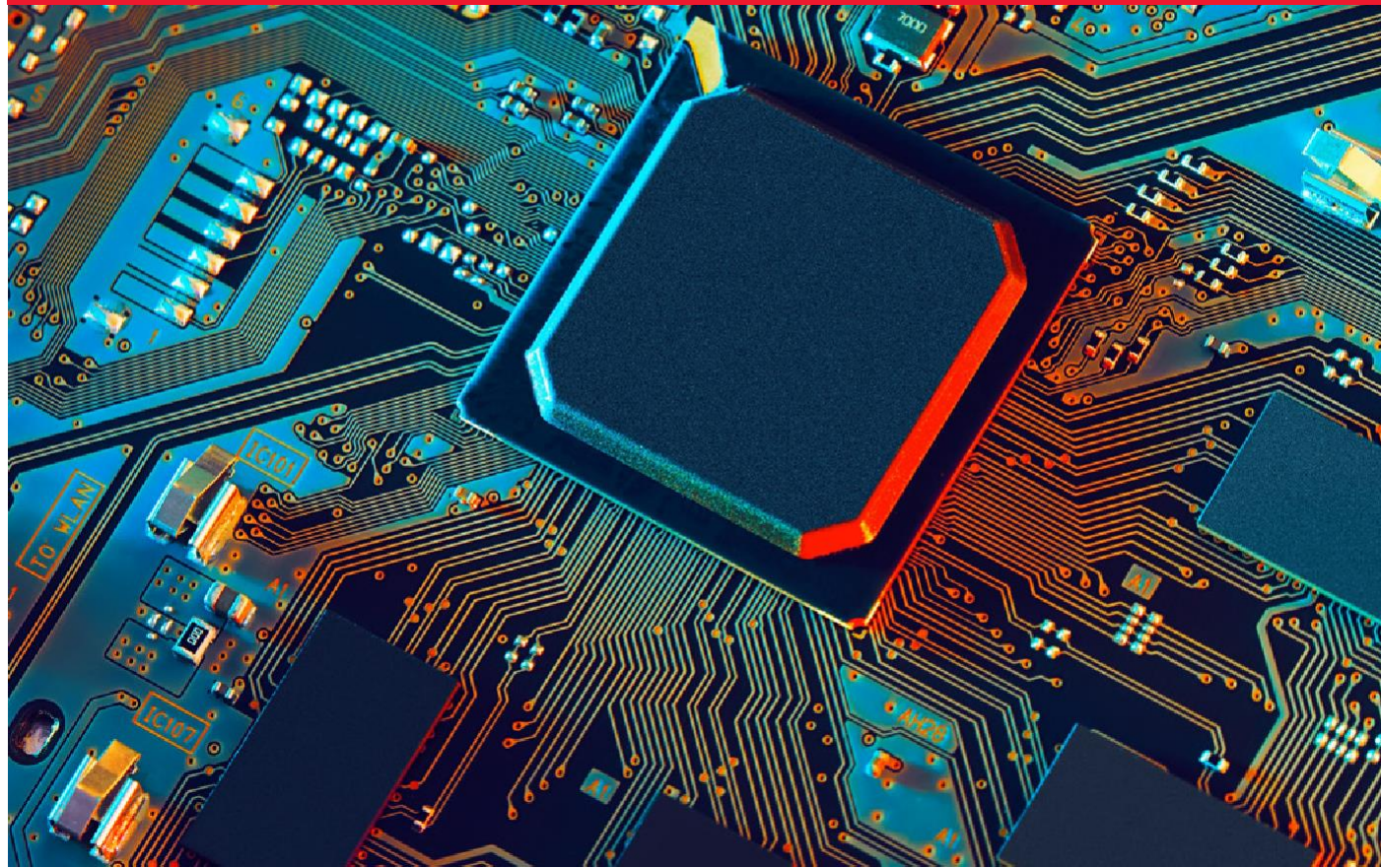
さまざまなアートギャラリー、劇場、音楽、ダンスアカデミーなど豊かな文化と伝統を楽しめます。

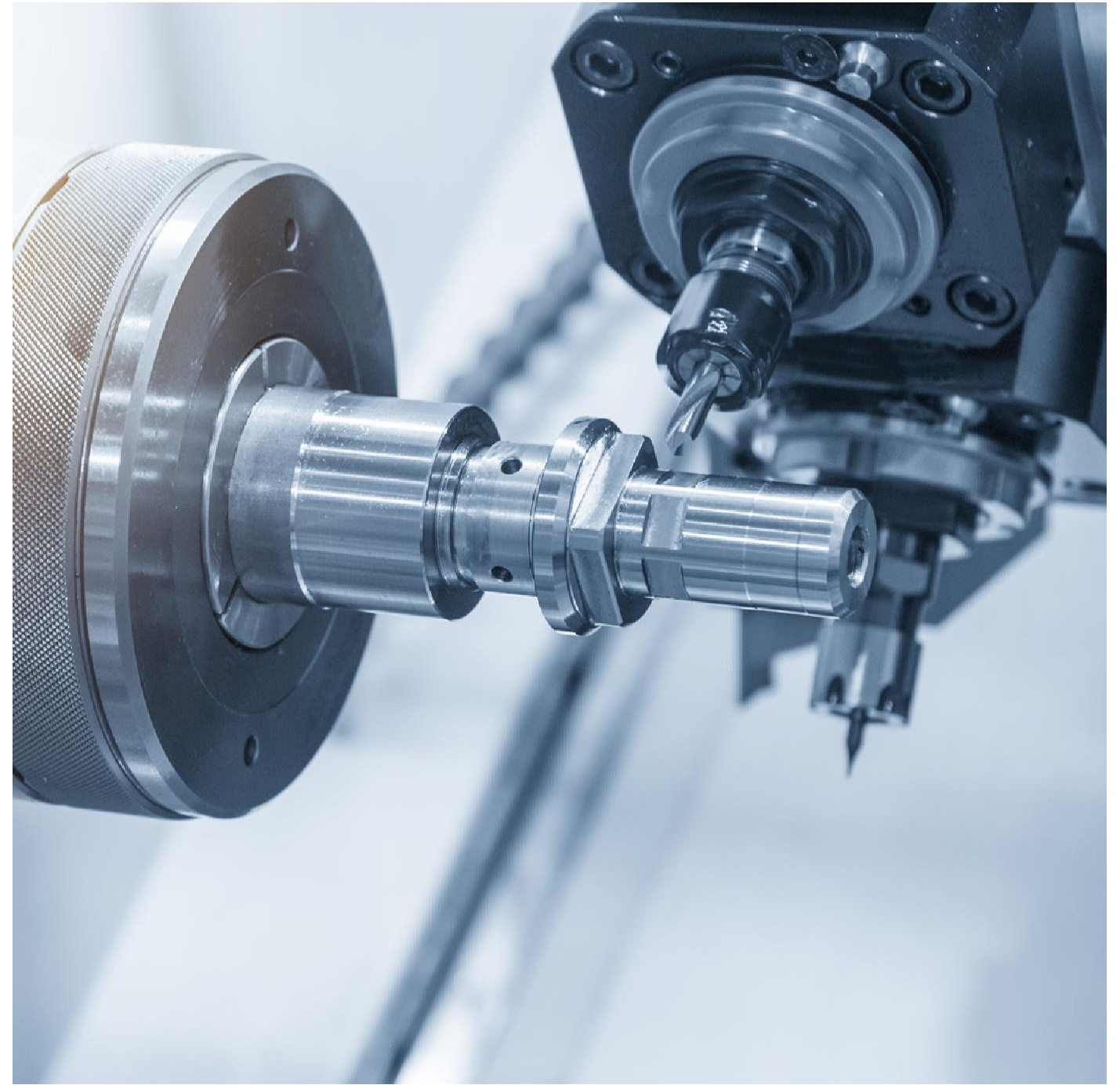
中華、和食、コンチネンタルなど、世界各国の料理を召し上がっていただけます。

ショッピングモール、ゴルフ場、映画館、パブ、クラブなど、多様なエンターテインメントと世界的なブランドを備えています。



注目分野





電子システムの 設計および製造

インド国内でもカルナータカ州は、電子システムの設計および製造への主要な投資先となっています。インドの電子産業に貢献する上位5州の1つです。州には主要な電子ハードウェアおよび設計会社があります。

- 85以上のファブレスチップデザインハウスを有するインド最大のチップデザインハブ
- インドのシェアの60%を占め、IntelやQualcommをはじめとする企業を有する半導体設計の主要な存在
- L&T, Wipro, Cyient, and others L&T, Wipro, Cyient等の企業によるインド国内の電子設計シェアは40%

新たなイニシアチブと 機会

- マイスール、ダールワード、バンガロールで3つの電子機器製造センター（EMC）を開発中
- テスト、コンポーネントライブラリ、技術的専門知識、社内指導教育、技術向上、製品設計施設、デザインスタジオ等の共通施設
- マイスール、ラハリにある先進的で高品質な電子機器の試験および認証センター



土地に対する25%の資本助成金および5年間の1%のPLI等、魅力的なインセンティブ

航空宇宙および防衛機器

カルナータカ州の航空宇宙および防衛産業は、Hindustan Aeronautical Limited - HAL が設立された 1940 年以降、「メイク イン インディア」モデルを進めています。DRDO、ISRO、NAL を含む多くの公共部門ユニット (PSU) が州に本部を置いており、さらに、ボーイング、エアバス、コリンズ エアロスペース、ダイナマティクス、グッドリッチなど、いくつかの大手航空宇宙企業がすべてカルナタカに拠点を置いています。

- バンガロールは、海外からの投資誘致の点で世界のトップ3に入る航空宇宙都市です。
- 2つの 航空宇宙および防衛経済特別区 がベルガウムとバンガロールに設定されました。
- インド国内の航空機および宇宙船産業の4分の1を占める本拠地です。
- カルナータカ州には、インド国内のA&D業界のサプライヤ拠点の 70% が集中しています。
- インドからの航空宇宙関連輸出の 65%を占めています。
- 国防総省向けに国の航空機とヘリコプターの 67% を提供しています。



新たなイニシアチブと機会

- 州は豊富な人材プールにより、研究、設計、開発能力を増強する機会を提供
- 新興企業のインキュベーターとして、バンガロールにカルナタカ航空宇宙訓練センター (KATC) を設立
- カルナタカ州は、防衛における「メイク・イン・インド」を推進するための新しい防衛クラスターを検討中



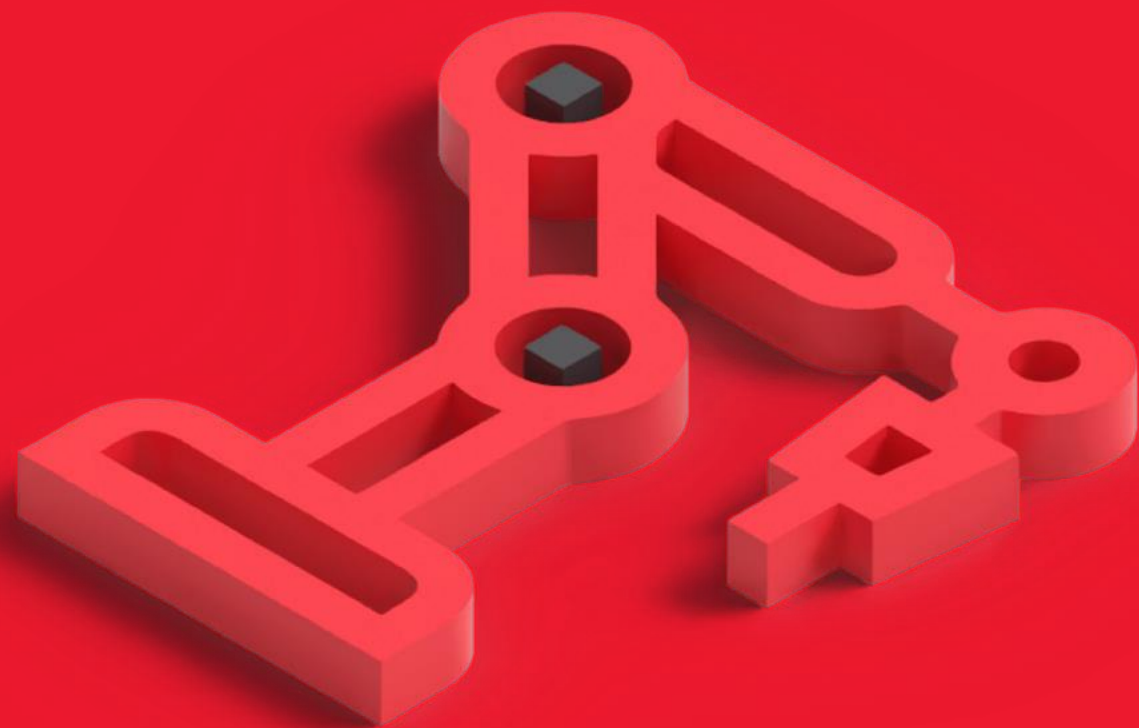
20%の資本助成金および5年間の1%のPLI等、魅力的なインセンティブ

工作機械

カルナータカ州の工作機械産業の歴史は、1953年のHindustan Machine Tools の設立に始まります。この年、ボッシュもバンガロールに製造施設を開設しました。

現在、カルナータカ州は、高価値の工業製品に焦点を当てた工作機械の生産において、国内有数の州として浮上しています。

- カルナータカ州は、全工作機械生産においてインドの総シェアの 50% (生産量に基づく) を占めます。
- カルナータカ州は、特殊用途および重電機械の第 2位の生産州です。
- ベンガルールは、国内で製造される工作機械の 60% を生産しています。



新たなイニシアチブと機会

- トゥマクル県ヴァサントナラサプラに、540 エーカーの敷地を持つインド初の総合工作機械パーク (TMTP) を設置
- トレーニング、テスト、R&D 施設を備えた共通エンジニアリングセンターをTMTP内に設置
- ベラガヴィのグローバル精密工学SEZおよびマンガールのグローバル工学 SEZ
- マニュファクチャリング4.0センター・フォー・エクセレンスを州全体に設置

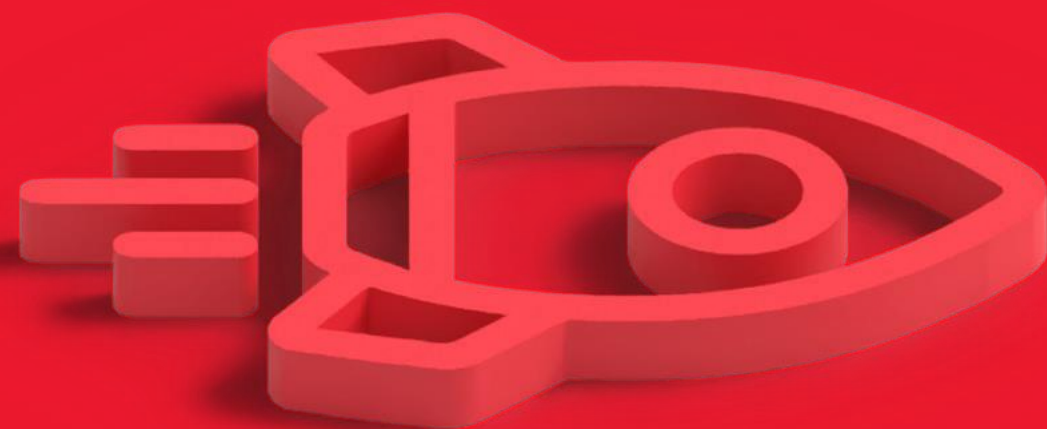


6~10年の年間売上高の最大2.25%までの投資促進助成金およびその他の魅力的なインセンティブ

イノベーションと スタートアップ

カルナータカ州の州都バンガロールは、インドのシリコンバレーと呼ばれています。インドのデカコーン4社のうち3社 (Flipkart、Swiggy、BYJU)、ならびにOla、Razorpay、Unacademy、ShareChat、Udaan などの多くのユニコーンの本拠地となっています。

- 2015年、カルナータカ州は、専用のスタートアップセルを備えたスタートアップポリシーを国内で最初に導入しました。
- インドのユニコーン企業100社のうち、39社がベンガルールに拠点を置き、世界的にも重要な強固なスタートアップエコシステムを構築しています。
- バンガロールのユニコーン評価額は、インドのユニコーン総評価額の55%を占めます。
- 本州は、Microsoft、Net App、SAP、NUMA、Airbus、Catalyst など、世界的に認められた企業の国際的なインキュベーター本拠地です。
- 40億米ドルのコーパスを持つElevate 100は、新興企業向けの包括的な起業家精神プラットフォームを提供します。



新たなイニシアチブと 機会

- 「Elevate」で潜在力のある新興企業への資金提供に参加し、現在、488社の新興企業が最終選考に
- カルナータカ州政府が提供するベンチャーファンドに参加
- 姉妹都市、技術サミット、R&Dなどのイニシアチブにより、グローバルイノベーションアライアンスの一員



自動車、自動車部品、 電気自動車

カルナータカ州はインドで4番目に大きな自動車メーカーであり、全国の自動車生産の8.5%を占めています。また、国内初の国産電気自動車である Reva Mahindra の本拠地でもあります。

自動車および自動車部品

- OEM主要7社と50以上の自動車部品メーカーが州内で稼働
- 主な自動車企業は、ホスコテ、ビダディ、フバリダルウッド、シバモガ、ベルガウム
- 2輪EV車販売台数はインド国内最高

電気自動車および エネルギー貯蔵政策 2017

- 包括的かつ適切に設計された「電気自動車およびエネルギー貯蔵政策 2017」を導入した最初の州です。
- 2020年に公表された更新政策とクラス最高のインセンティブ
- カルナータカ州は、州を「インドの電気自動車の首都」にするという確固たるビジョンのもと活動しています。

新たなイニシアチブと 機会

- 電気自動車クラスターがバンガロール近郊で始動
- バンガロールに設置されたこの種では初の共通電気自動車テスト施設
- 電気自動車のインキュベーターセンターとともに研究開発センターを設立
- バッテリーセル製造に関するパイプラインのものと25GWh以上のプロジェクト



バイオテクノロジー、医薬品、医療機器

カルナータカ州は、世界および国内のバイオテクノロジー投資のインド初の拠点であり、バイオテクノロジー企業の60%以上が稼働しています。強固な研究開発施設、熟練した人材、および有利な政府の政策により、カルナータカ州はインド国内におけるバイオテクノロジーの首都となっています。カルナータカ州は、医薬品および医療機器の製造に関しても強力な基盤を有しています。

- 1,000億ドルの市場を想定した包括的なバイオテクノロジー政策2017~2022
- インドからの全バイオテクノロジー輸出高の1/3以上、医薬品輸出の12%
- バイオイノベーションクラスター、バイオテクノロジーフィニッシングスクール、現在提案中の海洋バイオテクノロジーパーク、動物バイオテクノロジーパーク、およびアグリバイオテクノロジーパークの本拠地
- 5億ドルのバイオベンチャーファンドを設立
- バンガロールおよびマイルールは、医療機器製造の主要拠点
- 排他的な医薬品経済特区、医薬品工業地域、研究開発センターの存在



新たなイニシアチブと機会

- Yadgir のKadachur-Badiyal 工業地域にある1,500 エーカーを超える敷地のバルクドラッグパーク
- アユシュ省シバモガのバイオ医薬品およびウェルネスクラスター
- グリーンフィールドおよびブラウンフィールドにおけるプロジェクト、ラボ、製薬ラボに投資
- 創薬、創薬設計、バイオシミラー発見の加速に参加

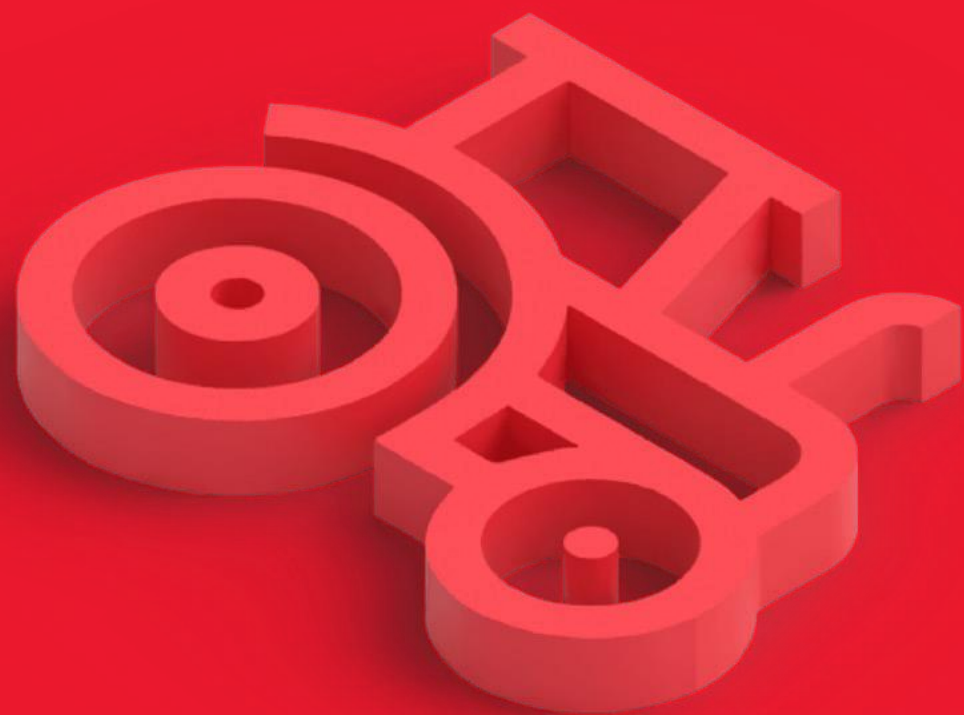


6~10年の年間売上高の最大2.25%までの投資促進助成金およびその他の魅力的なインセンティブ

農業および食品加工

カルナータカ州の土地面積の65%以上が農業と農業活動に活用されています。この主要産業における労働人口は、州の労働人口の最大60%に当たります。カルナータカ州は、コーヒー、青唐辛子、シルク、キビ、ブドウ、ベニバナ、ガーキン、スパイス、サトウキビ、マンゴー、豆類の主要生産地です。

- インドの全コーヒー生産量の70%
- ひまわりの全国生産量の60%
- ラギの生産および収穫量の60%
- 重要なサトウキビおよび豆類の栽培
- 4つのフードパークと2つのメガフードパーク
- 20の農業および食品加工クラスター



新たなイニシアチブと機会

- フブリーダルワルに予定されている1,000 エーカー以上の広さを持つ FMCG クラスター
- 倉庫、冷蔵保管、ロジスティクスにおける機会拡大
- 有機農業と食品加工の大幅な成長
- 極小および小規模食品加工ユニットを開発するためのクラスターアプローチ

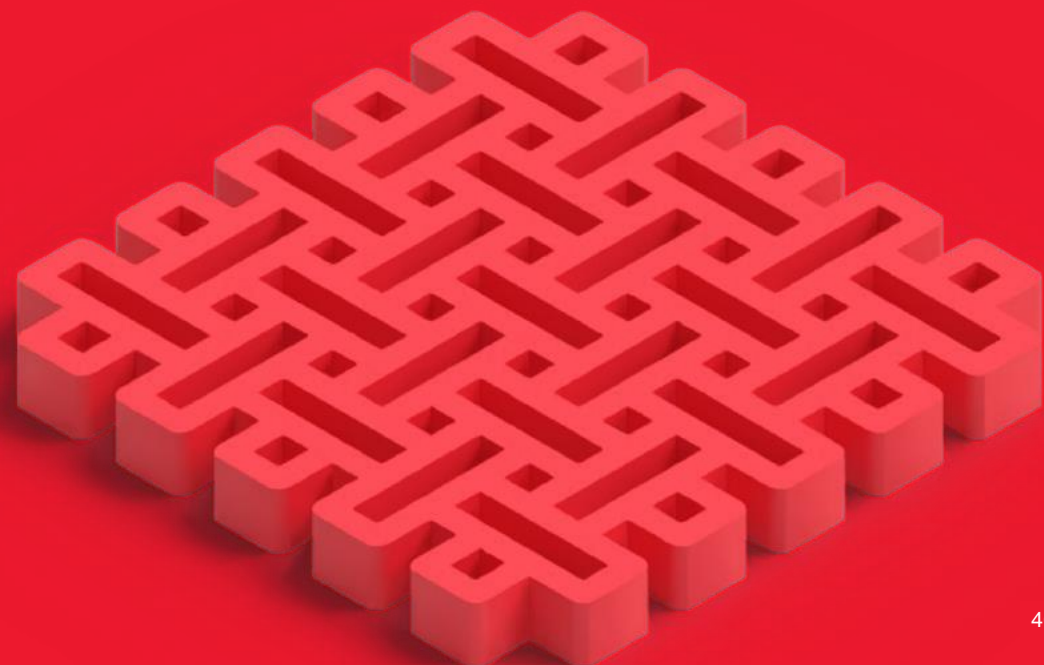


インセンティブのうち資本助成金およびPLIを FMCGクラスターに提案

繊維製品およびアパレル

カルナータカ州は、インドの繊維およびアパレル製造量トップの州であり、国内の総衣料生産高の20%を占めています。全国の絹の49%、羊毛の12%、綿の6%を生産しています。

- カルナータカ州はインドにおける衣料品輸出収入の19%を占めます。
- テクニカルテキスタイルの主要市場です。
- 325の技術開発センターがあり、1,65,200人に対して訓練を行っています。
- 9つの手織りクラスター、アパレル専用ゾーン、233ヘクタールの繊維経済特区
- ベンガルール地方のドダバラプラに最初の統合テキスタイルパーク



新たなイニシアチブと機会

- カルブラギおよびビジャイプールの1,000エーカーの土地にメガテキスタイルパークを設立
- 繊維遺産を保存するための革新的なソリューションの機会
- インドPLIスキームの政府方針に沿って、工業用布および人工繊維(MMF)の生産に重点

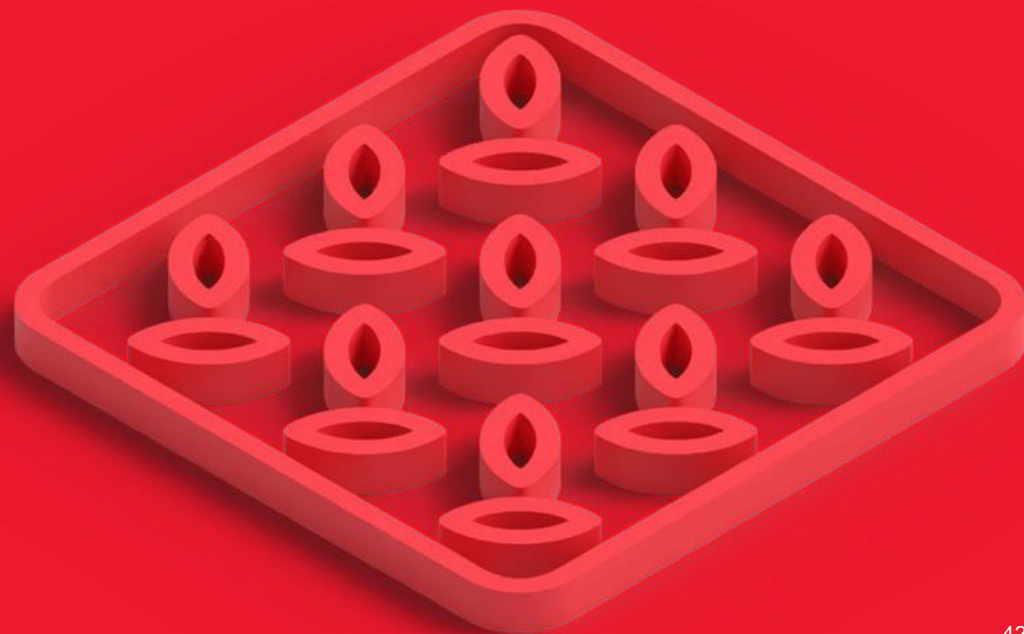


6~10年の年間売上高の最大2.25%までの助成金およびその他の魅力的なインセンティブ

製鉄業

豊富な鉄鉱石資源を持つカルナータカ州は、国の鉄鋼産業の柱の1つです。製鉄業は1923年にバドラヴァティにあるマイソール製鉄所 (Visvesvaraya 鉄鋼工場)から始まりました。州には、インドの13の主要製鉄所のうちの2つがあります。

- カルナータカ州には推定 20 億トンの鉄鉱石があり、他にも石灰岩、シリカ、マンガンなどの鉄の生産に欠かせない鉱物が豊富にあります。
- インド国内の総鉄鋼生産の13.7% が州で行われています。
- 国の磁鉄鉱の74%とおよび赤鉄鉱資源の11%を加工しています。
- 18ユニットの総鉄鋼生産能力は 22 MMTPA です。



新たなイニシアチブと機会

- Ballari, Chitradurga, Koppal, Chikkamagaluru などの地区は、州内の鉄鉱床の中心地です。
- 主要な統合鉄鋼プロジェクトは、さまざまな実施段階にあります。



6~10年の年間売上高の最大2.25%までの投資促進助成金およびその他の魅力的なインセンティブ

エネルギー部門

カルナータカ州のクリーン エネルギーへの取り組みは、1902 年にマイスールのシヴァナサムドラ地域に最初の水力発電所を設置したことに始まります。この取り組みは、2018年にトゥムクルのパヴァガダに2,000MWの太陽光発電パークを設置することでピークに達しました。

- 発電容量の大きさにインド7番目の州
- 再生可能エネルギーの設置電力容量の63% – インド国内最高
- 太陽光エネルギーの生産はインド第1位
- 2009年、インド初の3MWの実用規模の発電所を設置
- 1kmあたり36,858回線の送電網



新たなイニシアチブと機会

- カルナータカ州には、合計 86 GW の再生エネルギーの可能性があり、太陽光発電の可能性は約24.7GW
- インド初のグリーン水素電解槽製造ユニットと、太陽電池およびモジュール製造ユニットの本拠地
- 専用のグリーンエネルギー回廊および公園の設立
- 送電線の増強
- ESCOM5社によるスマートグリッド化

6~10年の年間売上高の最大2.25%までの投資促進助成金およびその他の魅力的なインセンティブ



観光および健康

カルナタカに足を踏み入れると、あらゆる場所で驚くこととなります。叙情的な自然の美しさが、丘、平野、川、滝、ビーチ、そして野生生物が生息する森の見事な融合によって醸し出されています。多くの異なる王朝がこの土地に足跡を残し、歴史的、宗教的、遺産的モニュメントの宝庫でもあります。

- インド国内における観光地数で第1位
- 5つの国立公園と25の野生生物保護区
- 2つの有名なユネスコ世界遺産 – ハンピとパッタダカル
- ベルール、ハレビドゥ、シャラバナベラゴラ、バダミ、バンディプールなどの、歴史と自然の観光地
- ナラヤナヘルス、アポロ病院、マニパル病院、M ラマイアメモリアル病院、コロンビアアジア、St John'sメモリアルカレッジ病院などの専門病院の存在
- アーユルヴェーダ、自然療法、ヨガ、ユナニ、ホメオパシー、ヨガと自然療法を専門とする66の AYUSH 診療所および60の病院施設



新たなイニシアチブと機会

- インド政府による遺産都市開発と拡大ヨジャナ (HRIDAY)計画 が、遺産都市観光の開発を支援しており、バダミはその対象となる12の都市の1つです。
- クルーズ(マングルール/カルナタカ沿岸)、アドベンチャー(カイル川/ドウバレ)、医療およびエコツーリズム(マルナド カルナタカ/カルナタカの西山脈)などは穴場的な観光地として可能性が見込まれています。
- 健康とウェルネスのための観光クラスターがシバモガに設置されています。



最大 100% の印紙税免除
や優遇登録料などの魅力的
なインセンティブ

製品ベースの産業クラスター 開発プログラム



- 製造エコシステム構築のためのセクター固有クラスター
- スムーズな製造プロセスを促進する最先端のインフラ設備
- EMC 用TTP水の可用性など、セクター固有のニーズの可用性
- 良好な接続性を備えた戦略的立地クラスター

プラグアンドプレイインフラストラクチャ

 **グローバル インダストリアル商業地域**



日本工業団地
520 エーカー
(200 エーカーは既に割り当て済)。
商業活動用31 エーカー、無停電電源装置



**テクノロジー イノベーション
インターナショナル パーク
(CDC 台湾)**
70 エーカーの開発済みA級インフラ、
住宅および商業スペース用の予約区域、
幅30mの幹線道路

 **セクター固有のプラグ アンド
プレイ インフラストラクチャ**



Aequestイパーク、フブリ
完全に統合された製造施設、ユニットに
対する特別なインセンティブ 計画



**Indospace産業 & ロジスティクス
パーク、ナラサプラ&ミンダハリ**
64 および50 エーカーの土地、優れた接続性。
バンガロール市近郊



トゥムクル工作機械パーク
530 エーカー(115 エーカーは既に割り当て
済み)。国際基準に基づいて建設されたイン
ド初の工作機械パーク

カルナタカグローバル投資家 フォーラム

2022年11月2日～4日、
バンガロールのバンガロールパレスにて開催予定



本会議



テクノロジー主導
特別イベント



スタートアップピッチ
セッション



B2G ミーティング、
ネットワーキングなど



文化ショー



地元の食事体験



地元の工芸品展示

ご予約ください
詳細は追ってご連絡いたします





+91-80-2220 5333

ceo-ikf@karnataka.gov.in

www.investkarnataka.co.in

+91-80-2228 2392

md@kumbangalore.com

www.kum.karnataka.gov.in

